



# 財源を確保し万全の雪対策を

遠藤 宏司 議員

## 除排雪は公共事業、 雇用の場でもある

庄司町長



冬期間の雇用の場である除雪事業

**豪雪地の生活を  
より快適に**

豪雪地の見合う財源を積極的に要望し、除排雪を恒常的公共事業として冬期間の雇用の場にすべくではないか。豪雪の自然現象や雪対策を町の観光に活用する考えはないか。

町長 豪雪地帯のハンディは多いと認識していません。冬期間安心して過ごせる施策を実現するため、今まで以上に積極的にあらゆる方面に財源確保の要望・運動を行っています。現在も実態

**庁舎内改革は**

不適切な管理者のもと長期間に不適切な町政・行政が続ぎ、町職員も仕事をせざるを得なかった。民間出身の町長の誕生は、

として除排雪事業は恒常的公共事業の状況で、雪処理は雇用の場となっています。町の流雪溝の運営は、先進地として視察を受けるまでになっていきます。雪を観光資源としての活用を、さまざまな観点から研究していきま



町民から親しまれる庁舎内に

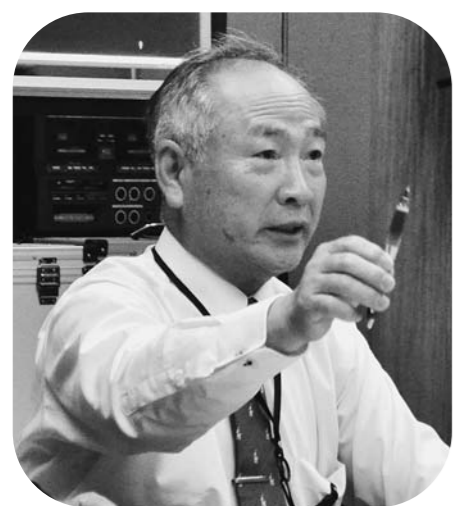
町民目線に立つて、行政の課題、職場の課題を改革してくれると町民は期待している。職員の模範となるべき者が賄賂を受け取るなど、公務員の自覚を崩壊させた。町の執行部や職員など公務員に公僕としての倫理を再構築する考えはないか。

町長 あまりにも町長に権限が集中したことが問題の中心であり、入札制度検討委員会の答申を尊重し、出来るものは平成24年より実施していきま

## 速報

# 議会報告会・地域住民との対話集会

大石田町議会では「町民のみなさんにかかれた議会」をめざして、去る4月10日から3日間にわたり、町内3会場において議会報告会を開催しました。また、地域の方との対話集会を行い、数多くの貴重なご意見をいただきました。詳細については改めてご報告いたします。



概要を説明する小林議長



◆ 豊田公民館 ◆  
4月10日(火) 参加者30名



◆ 大石田町役場 ◆  
4月11日(水) 参加者26名



◆ 横山地区総合センター ◆  
4月12日(木) 参加者32名